

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
昭和57年4月14日 第2報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Dinobryon divergens</i>	40		
(黄鞭) <i>Chrysosphaerella</i> sp.	80		
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	80		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	80		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	40		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	60		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	20		
(渦) <i>Gymnodinium</i> sp.	20		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	280		◎
(緑) <i>Tetraspora lacustris</i>	320	◎	
(緑) <i>Ankistrodesmus falcatus</i> var. <i>mirabile</i>	40		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	320	◎	○
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	20		
(他) その他の植物プランクトン	40		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	200	13.9	8.6
(珪) 珪藻綱	200	13.9	4.7
(渦) 渦鞭毛藻綱	20	1.4	2.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	280	19.4	36.4
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	700	48.6	48.4
(他) その他のプランクトン	40	2.8	0.0
総細胞数	1440	総体積	1.31E+06
種類数	14	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第1優占種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	320

第2優占種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Tetraspora lacustris</i>	320

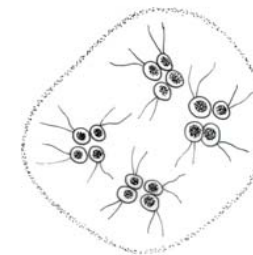
植物プランクトン第1優占種



Pediastrum biwae
(ピワケンシヨウモ)
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ピワケンシヨウモと呼ばれている。

植物プランクトン第2優占種



Tetraspora lacustris
(テトラスボラ)
緑藻綱

細胞は4個ずつ規則正しく配列し、中空の球体をなす。2本の偽せん毛を有する。